

令和6年度事業計画

有限会社 桂代
表取締役 藤原忠造

≪ 職員とご利用者又ご家族が笑顔で支えあう組織 ≫

◇ 職員とご家族が協力して、ご利用者と向き合える組織作り

(1) 事業の運営及び経営の安定化

- ・介護保険法に規定されている事業の運営に関わる制度基準の理解と運用
- ・人材確保の方策、労務管理、職員育成、外国人実習生の登用
- ・災害対策、感染症対策などのBCP業務継続計画の整備。

(2) 提供サービスの適正化

- ・介護事故、苦情、衛生、防災、個人情報等のリスクマネジメントの社内、社外講習
- ・提供サービスに関わる情報の発信（事業所よりのおたより、ホームページ）
- ・提供サービスの適正化の推進に関わる職員のスキルアップ研修
（コロナはじめその他の感染症対策、認知症への対応、機能訓練など）

≪各事業所の取り組み≫

◇ ショートステイかつら

- (1) 状態が多様化するご利用者様が増えるなか「かつらは安心だ」と言われるように、職員及び居宅ケアマネやご家族、かた主治医との情報の共有を徹底して行う。
- (2) 職員が仕事にやりがいを感じ、笑顔が自然に出てくる職場づくりを行う。
 - ・ご利用者様に対して、尊厳をもって敬い、ご利用者様が安心して居られる職場の雰囲気を作る。
 - ・認知症症状の重い方や医療行為の多いご利用者様の増加に伴い、プロ集団としての意識を高く持って、相談員と看護師、介護員や他職員が協力した支援を行う
 - ・外部講習、研修又Web学習への積極的な参加

◇ グループホームかつら

- (1) ご利用者様の「生きがいへの支援」を推し進め、「個性」とそれぞれの「歴史」を大切にした尊厳のある心地よい空間の環境づくり
 - ・職員とご利用者さまとの日々の「ふれあい」を大事にする。
 - ・ケアプランを「生きる意欲」を持ち続けられるプラン
- (2) 日々変化する認知症の利用者の方への対応、また看取りまでの終末期ケアなど、ご家族が安心して任せられる信頼関係の構築
 - ・意識した個別ケア実践に向けて、職員間又ご家族への情報の伝達、共有に関する意識の向上
 - ・施設内外研修での職員の意識レベルの向上